

令和6年度 ひとはくの概要

令和7年3月

I 施設の概要

1 設置目的及び沿革

(1) 設置目的

自然の摂理、生命の尊厳及び人と自然との調和した環境の創造に関する県民の理解を深め、教育、学術及び文化の発展に寄与する。

(2) 沿革

昭和61年12月	兵庫県立自然系博物館建設基本構想（報告）策定
平成3年12月	研究・収蔵棟完成
平成4年3月25日	本館（ホロンピア館）工事完了
4月1日	兵庫県立人と自然の博物館の設置及び管理に関する条例施行 姫路工業大学自然・環境科学研究所設立
10月10日	開館
平成13年3月	「人と自然の博物館の新展開」策定
平成16年4月	県立大学の統合に伴い、研究所を兵庫県立大学自然・環境科学研究所に改称
平成19年3月	新たな「人と自然の博物館基本構想」策定
平成20年3月	新たな「人と自然の博物館基本計画」策定
4月20日	「ひとはく恐竜ラボ」開館
平成24年10月	移動博物館車「ゆめはく」導入
平成25年3月	「ひとはく将来ビジョン」策定
平成30年8月	「新収蔵庫棟基本構想」策定
令和4年10月29日	新収蔵庫棟「コレクションナリウム」開館
令和5年3月	「ひとはく将来ビジョン2023-みんなと共に、地域と共に-」策定

(3) 歴代館長等

平成2年6月～	伊谷 純一郎（設立準備室長）
平成3年4月～	加藤 幹太（ ” ）
平成4年4月～	加藤 幹太（初代館長）
平成7年7月～	河合 雅雄（第2代館長）
平成15年4月～	岩槻 邦男（第3代館長）
平成25年4月～	中瀬 勲（第4代館長）
令和6年4月～	村上 哲明（第5代館長）

2 施設の規模・構造等

(1) 規模・構造

ア 施設規模 敷地面積：44,008㎡（人博 7,916㎡県企業庁 6,020㎡+三田市 30,072㎡）
 建築面積：8,037㎡ 延床面積：20,460㎡

イ 建物構造

本館	鉄骨・地上4階（設計：丹下健三）
エントランスホール	鉄筋コンクリート
研究、収蔵棟	鉄筋コンクリート・地上3階
ジーンファーム	軽量鉄骨
ひとはく恐竜ラボ	鉄骨平屋
新収蔵庫棟	鉄筋コンクリート一部鉄骨造・3階建

ウ 展示室等面積

展示関係	教育普及関係	収蔵関係	研究関係	管理関係	共用部門	合計
4,350 ㎡	1,375 ㎡	3,681 ㎡	2,185 ㎡	349 ㎡	8,520 ㎡	20,460 ㎡

エ 建設費 施設 6,576百万円 その他 180百万円

(2) 収蔵品・資料等数

区分	点数
①植物	641,315 点
②昆虫	1,310,893 点
③その他動物（哺乳類+鳥類等）	68,157 点
④地学系（化石+鉱物+ボーリングコア等）	151,874 点
⑤環境系（古地図等）	26,423 点
合計	2,198,662 点

* 令和7年1月末現在

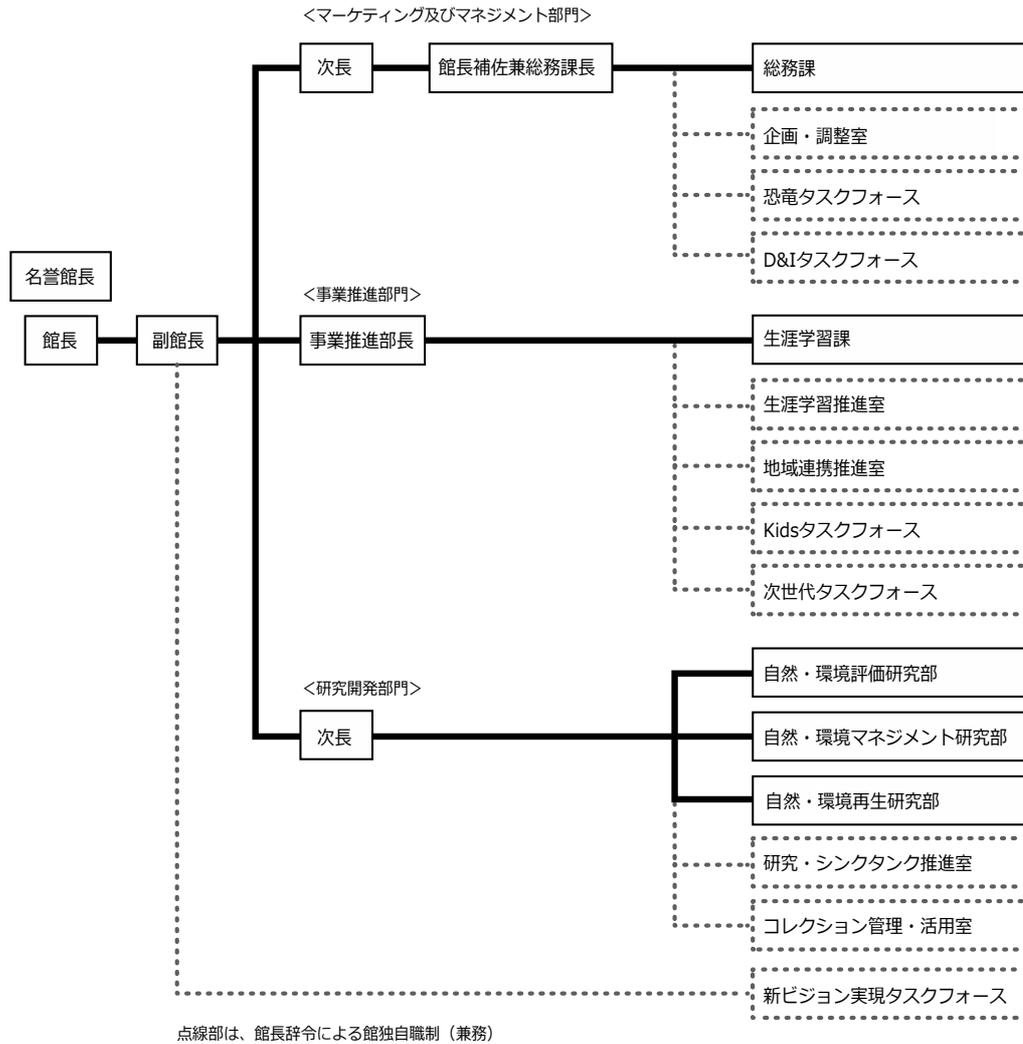
3 施設運営

(1) 職員数

事務職 (再任用を含む)	研究職 (再任用を含む)	(うち県立大併任)	技能労務職	会計年度 任用職員	非常勤 嘱託員	合計
13人	31人	(19人)	1人	35人	1人	81人

*令和7年1月末現在

(2) 組織体制



* 令和7年1月末現在

(3) 令和6年度当初予算額

(単位：千円)

区分	予算額	財源内訳		
		国庫補助金	特定財源	一般財源
維持運営費	237,552	30,718	25,582	181,252
事業費	95,594		28,331	67,263
計	333,146	30,718	53,913	248,515

II 事業の概要

「新たなひとはくビジョン」のスローガン

みんなと共に、地域と共に一ひょうごの自然・環境・文化の多様性を守り、育む社会を目指してー

目指すべき博物館像

- ① リアルなモノ・コト・ヒトとの触れ合いに基づく多様な学びをすべての人に提供する博物館
- ② 自然・環境・文化を継承する担い手の活動を支援する博物館
- ③ 自然・環境・文化と身近な暮らしをつなぐ博物館
- ④ 自然・環境・文化の継承に資する先導的・独創的な研究・シンクタンク活動を行う博物館
- ⑤ 標本・資料の持つ価値をすべての人とひらく博物館

2023～2027年度の重点目標（第5期中期目標）

- ① 「リアルなモノ・コト・ヒトとの触れ合いに基づく多様な学び」と「生涯を通じて学び続けられる場」をすべての人に提供する。
- ② 自然・環境・文化の継承に取り組む担い手の成長と活動を支援し、多様な主体との連携を強化する。
- ③ 自然・環境・文化の継承に資する先導的・独創的な研究・シンクタンク活動を展開する。
- ④ 標本・資料の「収集・保管機能」と「デジタル・アーカイブ化」を強化し、標本・資料から得られる価値を最大化する。
- ⑤ 「情報発信の強化」と「マネジメントの最適化」を促進し、目指すべき博物館像の実現を図る。

【重点目標1】 「リアルなモノ・コト・ヒトとの触れ合いに基づく多様な学び」と「生涯を通じて学び続けられる場」をすべての人に提供する。

(1) 常設展示

場所	展示名称	内 容
本館 3階	ナチュラリストの幻郷	博物館に寄せられた多数のコレクションを紹介。コレクションすることの楽しさを味わうことができる。
	兵庫の自然誌	兵庫の多彩な自然を紹介するなかで、各地域における自然と人々の生活との密接な結びつきを紹介する。
	人と自然	過去における人と自然の良好な関係および現代におけるその関係の急速な変貌を紹介する。
	新しい文化	「ゴミ」と「モノ」から豊かな暮らしのあり方や環境問題を考える。
	兵庫の恐竜化石	丹波市・丹波篠山市で発掘された恐竜等の化石の実物標本とともに発掘調査の概要や最新の研究成果を紹介する。
本館 2階	水生生物の世界	クジラやサメ等の海にすむ大きな生物や、河川の魚をめぐる生物たちの食物連鎖について紹介する。

本館 1階	地球・生命と大地	地球の構造と歴史、動植物の歴史と現在の姿を提示し、人の生活を根底で支えてきた地球全般を解説する。
本館 4階	ひとはくサロン	兵庫の自然や生物の暮らしなどをビデオで紹介するほか、収蔵品や植物の分布等が調べられる情報ブース。

(2) 企画展（令和6年度）

場所	名称	期間	内容
本館 2階	企画展 共存する小さな渡来者たちーシロツメクサもダンゴムシも海外からやってきたー	R6. 3. 20～5. 26	人類の渡来以後に海外から日本列島にやってきて定着した生物を、人為によるものかどうかを問わず「渡来者」と呼び、そのうち兵庫県で身近に見られる植物や虫たちをその来歴とともに紹介する。
本館 2階	企画展 クモ展～多様な8本脚たちの世界～	R6. 7. 2～R7. 1. 13	身近だけどよく知らないクモ。あらゆるところに生育しているクモの様々な不思議に焦点をあて、多数の標本や網（巣）標本を用いて紹介する。
本館 2階	企画展 価値の手直し展～アップサイクルからみつめるモノと人の豊かな関係～	R7. 2. 15～5. 31	本企画展ではアップサイクルをテーマに、一度価値がないとされたモノでもそれぞれの視点と方法で価値をつける（手直しする）ことができることを紹介する。

(3) イベント（令和6年度）

名称	開催日	概要
Kidsサンデー	毎月第1日曜日（休館中の2月を除く）	小さな子どもたちにも楽しめる自然・環境に関する様々なプログラムを実施。

共生のひろば	R7. 2. 11	将来の生涯学習や地域環境保全活動の担い手となるべき人材（地域研究員）を養成し、それらの発表と交流の場として開催。
--------	-----------	--

(4) 一般セミナー（申込制）

研究員や連携活動グループ等による事前申込制の専門的なセミナーを174講座開催

分野	セミナーのタイトル	講座数
地球科学	化石発掘体験セミナー、恐竜化石発掘記～モンゴル・ウズベキスタン編～、新たな地質時代区分「人新世」からみる人類の足跡、ひとはくアカデミック・ステイ in 但馬、エチオピアの大地で人類進化の謎を探る1、葉の化石を調べよう、化石を調べよう講座、化石の見分け方講座、化石を見つけよう！講座、生きている恐竜の世界～化石でたどる鳥類の進化～、アンモナイトの断面標本を作ろう、初めての古環境解析～ケイソウ微化石から探る100万年前の瀬戸内海～（全3回）、ひょうごの恐竜、石ころの見わけ方入門、丹波竜を作ろう！、絶滅生物 アンモナイトの話、篠山層群の地層観察会、地質ハイキング～六甲山から見る大阪平野～、獣脚類恐竜の歯を分類しよう！、エチオピアの大地で人類進化の謎を探る2、ワニとトリの話 ～かつて地上を支配した巨大生物たち～、はじめての恐竜、恐竜の掘り方 ～化石研究の土台をつくる技術の発展～	41 講座
植物	芦屋市奥山地域の樹林で多様性を知る（4月）里山の木々に親しむ～深田公園 春の樹木ウォッチング～、春の六甲山ハイキング、植物観察会（春の雑木林：有馬富士公園）、ちいさな押し花標本をつくってみよう！（春編）、再度公園周辺の樹林で多様性を知る（春）、植物観察会（春の海岸植物）、木を切って、森を育てる：里山林の特徴・現状・保全、ジーンファーム見学会：ジーン（遺伝子）と生物多様性のお話、植物観察会（初夏の武田尾溪谷）、神戸市まちなかのシダを見る～牧野富太郎の史跡をめぐって～、太山寺周辺の樹林で多様性を知る、生物多様性に配慮した地域性種苗による緑化のススメ、新米研究員が海外調査で見た面白植物の写真をベテラン研究員と見る会、森と土の観察会（再度山編）、日本の海岸植物・海岸植生を探る、知れば知るほど変な植物：ユリ科の大解体とユリの謎の宝庫・日本、誰かに話したくなる身近な植物の話、植物観察会（ため池の植物）、台湾の海岸植物・海岸植生を巡る、植物観察会（箕面公園）、植物観察会（大住寺湿原のサギソウ）、神戸市森林植物園のシダを見る、シダの標本づくり、シダの標本づくり、芦屋市奥山地域の樹林で多様性を知る（9月）、砥峰高原 秋の植物ハイキング、ちいさな押し花標本をつくってみよう！（秋編）、里山林の植物を観察しよう、里山の木々に親しむ～深田公園 秋の樹木ウォッチング～、植物観察会（ため池の植物：鴨池）、芦屋市奥山地域の樹林で多様性を知る（11月）、森林生態学講座（基礎編）、植物観察会（赤穂御崎のノジギク）、里山の自然を守るとはどういうことか、カヤツリグサ科勉強会、知れば知るほど変な植物：驚きのツククサ科いろいろ	37 講座
昆虫（節足動物）	ユース昆虫研究室 Advanced、佐用町昆虫館 昆虫学園 中等部、クモ学入門、昆虫標本を作ろう、あなたの知らないセミの話、セミのぬけがら調べ、摩訶不思議なクモの世界	7 講座

動物と生態系	南極隊員と鳥博士によるペンギントーク、大沢町で希少淡水魚の観察、アルゼンチンアリの対策に関する実習（垂水区編）、アルゼンチンアリの対策に関する実習（灘区編）、水辺の生き物を観察しよう～KOBE川の音ベース編～、両生類の体を見てみよう、爬虫類の体を見てみよう、ダンゴムシを育てよう、メダカの透明標本作製、川の水生昆虫観察会（住吉川編）、生き物の行動ってどうやって測るの？：動物行動学入門、生物進化という考え方、動物行動学者の博物館資料活用法（収蔵庫ツアー付き）、ヒトの進化と現代人のルーツ	14 講座
環境と地域づくり	神社のみかた・歩きかた「蛭子神が漂着した和田岬」、五感で楽しむコーヒー焙煎 ①春の部、文化遺産学入門 作庭記に学ぶ自然のデザイン、アンモナイトと音楽の会～ナイトミュージアムでコンサート～、地域の魅力再発見カフェ夜の部 お話と味で感じる「ひょうごのブルワリーとチーズ」、五感で楽しむコーヒー焙煎 ②秋の部、大人のリースづくり ～木の実ごろごろ～、地域の魅力再発見カフェ夜の部 お話と味で感じる「ひょうごのブルワリーと丹波黒」、地域再生の現場！～有馬富士公園での里山の風景再生の取り組み事例～、大人のリースづくり ～プリザーブドグリーン～、増えすぎたシカとどう向き合う？～里山のいまとこれからについて～、増えすぎたシカとどう向き合う？～里山のいまとこれからについて～、大人のリースづくり ～ハーフミモザ～、絵図や古地図を片手にぶらり。今昔まちあるき【神戸三宮】、神社のみかた・歩きかた「南あわじの神社と津波」	13 講座
その他・複合	生物を見分ける 一分類学の基礎と同定の実践、研究活動支援セミナー～科学論文の読み方入門講座～、大学でどんなふう自然について学べるの？研究員に根掘り葉掘り聞いてみよう！、ピカピカ泥だんごをつくろう！、小水力発電のススメ、研究活動支援セミナー～研究テーマの選びかた～、Rで学ぶデータ解析、骨について学ぼう、プラスチック封入標本をつくろう、アウシュビッツ強制収容所を訪ねて：優生思想と科学、研究活動支援セミナー～科学論文の書き方入門講座～、新種を見つける一分類学者の研究、エクセルで学ぶ進化モデル	15 講座
連携活動グループセミナー	加古川のチャートはどこから来たのか、コケ植物観察会、家族で蜂蜜しぼり、タネから育てる山野草「タネのまき方・育て方」、ハチ北高原コケ観察会（1泊2日）、ボランティア活動体験教室（音の鳴る工作づくり）、デジタルカメラで100倍のクローズアップ撮影を体験、家族で蜂蜜しぼり、篠山城のお堀でいきもの観察、城の石垣・石材から見えること、夏のキノコ観察会、山野草のコケダマ作り、藍の生葉染め、天体望遠鏡づくり、ところ変われば石ころも変わる、ミツバチのうんちく、デジタルカメラで100倍のクローズアップ撮影を体験、ひとはく近くの「山野草の庭」めぐり、ハチ北秋のキノコ・木の実ツアー（1泊2日）、ミツバチのうんちく、多田銀山とまわりの地層、秋のキノコ観察、兵庫県周辺の活断層と近未来の内陸大地震、ふれる！笑う！身近な牡蠣の古生物講座	24 講座
教職員・指導者セミナー	初めての生物統計学（ノンパラメトリック検定）、地域の資源を宝に変える～「もったいない」から生まれる新たな価値、初めての生物統計学（パラメトリック検定）、小さな子どもの指導者向け 身近な植物観察の仕方、DNA情報から外来種の移入元を調べる、エクセルで学ぶ進化モデル①②（進化のしくみ）、SDGsを使って子どもたちと社会を見つめるー身近な公園に出かけようー、小学校の授業で使える植物の話ー身近な植物を中心にー、身近な植物の観察、ピカピカ泥だんごの作り方、持続可能な農業への転換ー求められる技術と体制についてー、敢えて教科書に書かないリアルすぎる植物の姿、火山灰を調べる、合意形成のしかた、デンデムシとダンゴムシ、水中の小さな世界を知る、森の土の基礎を学ぶ、動物進化の物語、博物館展示と授業の架け橋を目指して、岩石の種類を調べよう、小学校の授業に役立つ星の話、外来種問題の現状と対策	23 講座

(5) その他のセミナー

名称	概要	令和6年度
特注セミナー	来館団体向けに、120以上のメニューから相談に応じて実施。	179回、9,365名
オープンセミナー	来館者を対象に、当日参加が可能な小規模なセミナーを随時開催。	713回、32,502名

* 令和6年12月末現在

【重点目標2】 自然・環境・文化の継承に取り組む担い手の成長と活動を支援し、多様な主体との連携を強化する。

(1) 連携活動グループ・地域研究員等の活動支援

セミナー受講者等で、地域の自然環境の研究、学習活動に取り組むグループ・個人と、「連携活動グループ」「地域研究員」等として協定を結び、自主的な研究等活動を促進する。

- ・地域研究員 63人
 - ・連携活動グループ 21団体
- *令和6年12月末現在

(2) 連携事業

当館と目標を共有する多様な主体との連携事業を積極的に実施。

- ・主催連携事業実施件数 565件
- *令和6年12月末現在

(3) キャラバン・アウトリーチ事業

県内の様々な地域・施設でキャラバン事業として展示・セミナー等を実施し、多くの学習機会を提供するとともに、地域での生涯学習支援、地域づくりを推進する担い手の育成を図る。

- ・主催アウトリーチ事業実施件数 344件
- *令和6年12月末現在

【重点目標3】 自然・環境・文化の継承に資する先導的・独創的な研究・シンクタンク活動を展開する。

区分	令和6年度
学術論文・図書出版数	63本
一般向け著書等	44本
学会発表	48件
研究助成	35件 (6,304万円)
受託研究	16件 (3,892万円)
委員・アドバイザー等件数	184件

*令和6年12月末現在

【重点目標4】 標本・資料の「収集・保管機能」と「デジタル・アーカイブ化」を強化し、標本・資料から得られる価値を最大化する。

区分	令和6年度
標本・資料の登録点数	78,771点
標本・資料のデジタルデータ登録点数	544点
資料の利活用件数	209件

* 令和6年12月末現在

【重点目標5】 「情報発信の強化」と「マネジメントの最適化」を促進し、目指すべき博物館像の実現を図る。

区分	令和6年度
ホームページアクセス	51万件
新聞・雑誌等掲載	173件
テレビ・ラジオ等出演	22件
外部資金獲得金額	11,914万円

* 令和6年12月末現在

Ⅲ 利用状況等

利用者数（ビジター数）の推移

(単位：人)

年度	計	本館	キャラバン	共催	恐竜関係	コレクション
H4	67,663	67,663	—	—	—	—
H5	105,215	105,215	—	—	—	—
H6	76,003	76,003	—	—	—	—
H7	86,551	86,551	—	—	—	—
H8	89,713	89,713	—	—	—	—
H9	99,715	99,715	—	—	—	—
H10	109,170	109,170	—	—	—	—
H11	112,632	112,632	—	—	—	—
H12	181,530	137,152	44,378	—	—	—
H13	259,984	165,663	94,321	—	—	—
H14	255,193	154,719	21,089	79,385	—	—
H15	262,973	145,528	80,326	37,119	—	—
H16	373,112	185,892	135,454	51,766	—	—
H17	394,856	202,751	133,282	58,823	—	—
H18	451,378	206,605	155,466	89,307	—	—
H19	426,139	192,916	171,708	18,186	43,329	—
H20	555,782	206,022	93,593	164,196	91,971	—
H21	432,574	170,545	44,412	136,817	80,800	—
H22	464,605	173,514	52,957	176,111	62,023	—
H23	681,940	170,943	242,190	197,743	71,064	—
H24	895,748	179,734	375,822	276,748	63,444	—
H25	956,389	166,650	283,215	417,356	89,168	—
H26	818,961	153,477	424,379	154,895	86,210	—
H27	841,242	140,510	279,748	329,021	91,963	—
H28	760,004	142,810	150,848	350,261	116,085	—
H29	976,219	159,487	270,135	413,870	132,727	—
H30	947,125	162,940	280,862	380,838	122,485	—
R1	832,059	163,723	225,531	310,137	132,668	—
R2	482,089	104,236	34,904	214,910	128,039	—
R3	647,574	118,777	49,541	352,618	126,638	—
R4	755,143	180,190	58,615	337,707	150,539	28,092
R5	786,447	183,934	54,245	323,697	158,360	66,211
*R6	674,803	145,876	54,293	323,021	75,227	76,386

*：令和6年12月末現在

IV 第5期中期目標 (R5～R9年度) 令和6年12月末現在

- ① 「リアルなモノ・コト・ヒトとの触れ合いに基づく多様な学び」と「生涯を通じて学び続けられる場」をすべての人に提供する。
- ② 自然・環境・文化の継承に取り組む担い手の成長と活動を支援し、多様な主体との連携を強化する。
- ③ 自然・環境・文化の継承に資する先導的・独創的な研究・シンクタンク活動を展開する。
- ④ 標本・資料の「収集・保管機能」と「デジタル・アーカイブ化」を強化し、標本・資料から得られる価値を最大化する。
- ⑤ 「情報発信の強化」と「マネジメントの最適化」を促進し、目指すべき博物館像の実現を図る。

第5期中期目標 (R5-9年度)

【重点目標1】「リアルなモノ・コト・ヒトとの触れ合いに基づく多様な学び」と「生涯を通じて学び続けられる場」をすべての人に提供する。

指標	R6目標値	R6	達成率(%)	R5-9の目標値	R5-9	達成率(%)	単位
1. 総利用者数 (本館利用者数+外部依頼講演参加者数+連携施設利用者数+主催アウトリーチ事業参加者数+共催・協力事業参加者数)	80	60	75	400	155	39	万人
2. セミナー実施件数 (一般セミナー+オープンセミナー+特注セミナー)	1300	1055	81	6500	2314	36	件
3. セミナー受講者満足度	95	95	100	95 (平均値)	96	101	%
4. 主催アウトリーチ事業実施件数 (キッズキャラバン+学校キャラバン+その他キャラバン)	50	344	688	250	765	306	件

【重点目標2】自然・環境・文化の継承に取り組む担い手の成長と活動を支援し、多様な主体との連携を強化する。

指標	R6目標値	R6	達成率(%)	R5-9の目標値	R5-9	達成率(%)	単位
1. 連携団体数 (「連携活動グループ」と「様々な連携事業の相手先」を含む)	200	232	116	1000	478	48	団体
2. 連携事業実施件数 (主催アウトリーチ事業+共催・協力事業+館内連携事業*) (*展示、セミナー、キッズサンデー、ドリームスタジオ、シンポジウム等)	170	596	351	850	1,266	149	件

*当該指標についてはR9年度末時点の数値を目標値に設定しているが、この表では便宜上、当日目標値を単年度目標値としても記載している。

【重点目標3】自然・環境・文化の継承に資する先導的・独創的な研究・シンクタンク活動を展開する

指標	R6目標値	R6	達成率(%)	R5-9の目標値	R5-9	達成率(%)	単位
1. 学術論文・専門図書数	50	63	126	250	104	42	本
2. 県政課題関連論文・著作・研究発表数	70	41	59	350	91	26	本
3. 委員・アドバイザー等件数	150	184	123	750	370	49	件

【重点目標4】標本・資料の「収集・保管機能」と「デジタル・アーカイブ化」を強化し、標本・資料から得られる価値を最大化する。

指標	R6目標値	R6	達成率(%)	R5-9の目標値	R5-9	達成率(%)	単位
1. 標本・資料の登録点数	20000	78771	394	100000	143666	144	点
2. 標本・資料のデジタルデータ登録点数 (植物標本+昆虫標本+地学系標本+古写真)	1500	544	36	7500	938	13	点
3. 標本・資料の利活用件数 (館内展示+館外展示+セミナー+研究+貸出件数+マルチメディア等データ提供件数)	150	209	139	750	384	51	件

【重点目標5】「情報発信の強化」と「マネジメントの最適化」を促進し、目指すべき博物館像の実現を図る。

指標	R6目標値	R6	達成率(%)	R5-9の目標値	R5-9	達成率(%)	単位
1. HPアクセス件数	90	51	57	450	169	38	万件
2. 外部資金獲得金額 (各種助成金+受託研究+分任業務)	8000	11914	149	40000	20685	52	万円
3. 中期目標の達成度 (当該指標以外の総指標数に対する「達成率90%以上の指標数」の比率)	90*	64	71	90	67	74	%

*当該指標についてはR9年度末時点の数値を目標値に設定しているが、この表では便宜上、当日目標値を単年度目標値としても記載している。